

小田原市スポーツ施設整備基本計画

＜スポーツ施設整備における方向性の例示＞

今後、各方針や事業の優先順位を踏まえ、個別具体的な方向性を定めていくにあたり、優先的な対応が想定される個別施設とその方向性を例示します。

（１）既存スポーツ施設の検討例

◆酒匂川スポーツ広場の冠水によるグラウンドの長期使用休止

案①：現状維持及び代替施設の確保

＜現状維持としつつ、冠水被害発生から復旧までの期間、代替施設を一括借り上げ等により確保します＞

案②：新たな施設の整備

＜競技施設ごとに分散整備、または総合運動公園として一体整備します＞



◆御幸の浜プールの老朽化による施設の利用中止と設備の不具合

案①：現状維持

＜現施設を修繕・改修しながら継続利用します＞

案②：機能移転

＜現施設を廃止して機能移転します＞



(2) 新たなスポーツ施設の検討例

高齢化社会の到来や人口減少に伴う地域コミュニティの変化、そしてライフスタイルや多様化するニーズ等のスポーツを取り巻く状況を踏まえ、新たなスポーツ施設の整備を検討していく中で、現時点では次のような施設が考えられます。

案①：パークゴルフ場

＜誰もが、気軽に実施できることで、多世代交流も促し、かつ本市の自然環境等の地域資源を活かせるスポーツです＞



案②：スケートボード場

＜若者を中心にアーバンスポーツやストリートカルチャーへの人気が高まっており、専用の場を整えることで、安全かつ安心してスポーツを楽しむことが期待できます＞

